

# 勉誠出版

## 近世文学会 会員様対象 特別割引のご案内

2022・2021年刊行書籍

20%OFF

創業～2020年刊行書籍

30%OFF

謹啓

日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。

通常の2割引セールに加え、「創業55周年謝恩セール」といたしまして、創業から2020年までに刊行した書籍につきましては3割引とさせていただきます(詳細は次頁をご参照ください)。

この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

### ●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。  
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード:2021・2022年刊行書籍: **e0f4699fa7535f** (期限:～2022年12月26日)

割引クーポンコード:創業～2020年刊行書籍: **benseisale2022** (期限:～2022年12月26日)

割引クーポンコードを、必ずご入力ください!

※未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・2種のセールは、別々にご注文・ご精算くださいますようお願い致します(システムの都合上、一括でのご精算ができません)。一括でのご請求をご希望の場合は、メールにてご注文くださいませ。
- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。  
ご氏名・ご住所・電話番号・公費/私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- ・3000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス(※海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

**\*ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、  
近世文学会の会員であることをお知らせください。**

### ●ご連絡先

Mail [info@bensei.jp](mailto:info@bensei.jp)

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

# 勉誠出版 創業55周年 謝恩SALE

対象タイトルが、  
**30%**  
OFF!!!!

お買い上げ10万円毎に  
**割引率UP!!**  
10万～19万9999円⇒2%割引  
20万～29万9999円⇒4%割引  
30万～⇒6%割引!!  
※詳細は特設サイトをご確認ください

出品タイトル  
約**2,200点!!**  
※創業から2020年刊までのタイトル全点  
(増刷タイトルなど一部を除く)

在庫僅少本  
多数出品!!!!

**CAUTION!!!** 当セールは弊社への直接注文に限りです。書店では割引販売は行っておりません。  
必ず弊社へ直接ご注文くださいますよう、よろしくお願いいたします。

謝恩セール特設サイト

※インターネットをご利用にならない方は、  
当社まで直接お問い合わせください。

## bensei.jp/sale2022



謝恩セールクーポンコード

## benseisale2022

勉誠出版WEBサイトでお買い上げの際にご入力ください。特価割引が適用されます。クーポンは、電話・FAX・メール・郵送でご注文の際もご利用いただけます。10万円以上のご注文で、購入金額に応じた追加割引特典をご希望のお客様はご注文方法が異なりますので、特設サイトの説明をご確認ください。

### ご注文方法



※印刷したリストのご送付も可能です。  
ご入用のかたはご連絡ください。

※電話・FAX・メール・郵送  
でのご注文も承ります。

※ウェブサイト注文以外も  
クーポンをご利用いただけます。

※セール対象品以外は  
割引適用外になります。

### 期間限定

## 2022年9月27日～12月26日

### 出品ジャンル〈全20分野〉

◎日本語・国語◎外国語◎日本古典文学◎日本近現代文学◎東洋文学  
◎欧米文学◎考古学◎日本史(前近代史)◎日本史(近現代史)◎東洋史  
◎世界史◎哲学・宗教・民俗◎社会科学◎自然科学◎美術・音楽・芸能  
◎図書館情報学◎事典・辞書◎文芸◎人文一般◎入門書

上記特設サイトで、各分野リスト・全体リストPDFをダウンロードいただけます。

本セールは、メールマガジンご購読のWEB会員様、研究者のみなさまを対象にご案内しておりますが、お知り合いの研究者の方にぜひご紹介ください!

◎当セールは弊社への直接注文に限りです。書店では割引販売は行っておりません◎公費でのご注文も承ります◎ご所属の図書館様へのお申込みをご希望の場合は、当ご案内を図書館のご担当様へお渡しのうえ、弊社へ直接ご注文いただきますよう、お伝えください◎割引クーポンをご利用の場合、ポイントの付与はありません。すでに取得されているポイントはご購入の際にご使用いただけます◎刊行年の古い書籍や在庫僅少本については、カバーや表紙の汚損など状態が必ずしも良くないものや、外函が無いものなどがある場合がございます。あらかじめご了承ください。

【勉誠出版】研究書 近刊・新刊書籍リスト(2022・2021刊行分)

|    | 書名                                    | 著者名                                    | 刊行年月    | ISBN    | 価格 (税込) | 割引価格   | 注文数 |
|----|---------------------------------------|----------------------------------------|---------|---------|---------|--------|-----|
|    | ■事典・総記■                               |                                        |         |         |         |        |     |
|    | 坂口安吾大事典                               | 安藤宏・大原祐治・十重田裕一 編集代表                    | 2022/06 | 20079-6 | 15,400  | 12,300 |     |
|    | 江戸川乱歩大事典                              | 落合教幸・阪本博志・<br>藤井淑禎・渡辺憲司 編              | 2021/03 | 20080-2 | 13,200  | 10,600 |     |
| 近刊 | 書物学 第20巻 追憶のサムライ—中世武士のイメージとリアル        | 横浜市歴史博物館 編                             | 2021/10 | 30720-4 | 1,980   | 1,600  |     |
|    | 書物学 第19巻 紙のレンズから見た古典籍                 | 編集部 編                                  | 2022/02 | 30719-8 | 1,980   | 1,600  |     |
|    | ■歴史・文化財・美術史・思想史■                      |                                        |         |         |         |        |     |
| 近刊 | むら人たちの生活モード—中世日本民衆生活史入門               | 蔵持重裕 著                                 | 2021/10 | 32018-0 | 4,180   | 3,300  |     |
| 近刊 | 公文書管理法時代の自治体と文書管理                     | 宮間純一 編                                 | 2021/10 | 30008-3 | 6,600   | 5,300  |     |
|    | ナチスとユダヤ企業—経済の脱ユダヤ化と水晶の夜               | 山本達夫 著                                 | 2021/09 | 33003-5 | 8,800   | 7,000  |     |
|    | 上杉本洛中洛外図屏風の研究—桑実寺縁起絵巻と共に              | 小谷量子 著                                 | 2021/09 | 32020-3 | 9,900   | 7,900  |     |
|    | 中国の都市の歴史的記憶<br>—一九世紀後半〜二〇世紀前半の日本語表象   | 和田博文・王志松・高潔 編                          | 2021/09 | 32021-0 | 7,700   | 6,200  |     |
|    | カルナとアルジュナ『マハーバーラタ』の英雄譚を読む             | 川尻道哉 著                                 | 2021/08 | 31011-2 | 2,640   | 2,100  |     |
|    | 近世期百姓の土地所持意識と村落共同体                    | 菅原一 著                                  | 2021/08 | 32019-7 | 8,800   | 7,000  |     |
|    | 伝達と変容の日本建築史—伝わるかたち／伝えるわざ              | 野村俊一 編                                 | 2021/07 | 35001-9 | 3,850   | 3,100  |     |
|    | 古文書研究 第93号                            | 日本古文書学会 編                              | 2021/07 | 32403-4 | 4,180   | 3,300  |     |
|    | 醍醐寺の仏像 第三巻 明王                         | 総本山醍醐寺 監修／副島弘道 編                       | 2021/07 | 37203-5 | 46,200  | 37,000 |     |
|    | 食べるとはどういうことか                          | 佐藤洋一郎 著                                | 2021/07 | 33002-8 | 3,080   | 2,500  |     |
|    | 史学科の比較史—歴史学の制度化と近代日本                  | 小澤実・佐藤雄基 編                             | 2022/05 | 32017-3 | 7,700   | 6,200  |     |
|    | 中世東国日蓮宗寺院の地域的展開                       | 佐藤博信 著                                 | 2022/05 | 32016-6 | 13,200  | 10,600 |     |
|    | 歌う民衆と放歌高吟の近代<br>—放歌民衆から唱歌・軍歌を歌う国民へ    | 永嶺重敏 著                                 | 2022/05 | 37003-1 | 3,850   | 3,100  |     |
|    | 北条義時の生涯—鎌倉幕府の草創から確立へ                  | 菊池紳一 監修／北条氏研究会 編                       | 2022/04 | 32014-2 | 3,080   | 2,500  |     |
|    | 中世神道入門—カミとホトケの織りなす世界                  | 伊藤聡・門屋温 監修／新井大祐・鈴木英之・<br>大東敬明・平沢卓也 編   | 2022/04 | 31006-8 | 4,180   | 3,300  |     |
|    | 一刀斎先生剣法書記注—剣豪伊藤一刀斎の教え                 | 竹田隆一・長尾直茂 編                            | 2022/03 | 37002-4 | 1,980   | 1,600  |     |
|    | ことば・ほとけ・図像の交響—法会・儀礼とアーカイヴ             | 近本謙介 編                                 | 2022/03 | 31009-9 | 13,200  | 10,600 |     |
|    | 宗教遺産テキスト学の創成                          | 木俣元一・近本謙介 編                            | 2022/03 | 31008-2 | 16,500  | 13,200 |     |
|    | 宋版一切経（福州版）調査提要<br>—本源寺蔵の調査を通して        | 福州版一切経調査研究会 編                          | 2022/03 | 31010-5 | 7,150   | 5,700  |     |
|    | 奈良絵本『太平記』の世界—永青文庫所蔵『絵入太平記』全挿絵影印ならびに研究 | 中根千絵・森田貴之 編                            | 2022/03 | 39007-7 | 55,000  | 44,000 |     |
|    | 中国道教美術史 漢魏晋南北朝篇                       | 李松 著／土屋昌明・齋藤龍一 監訳／<br>廣瀬直記・熊坂聡美・因幡聡美 訳 | 2022/02 | 37001-7 | 38,500  | 30,800 |     |
|    | 古文書研究 第92号                            | 日本古文書学会 編                              | 2022/01 | 32402-7 | 4,180   | 3,300  |     |
|    | 知っておきたい和食の文化                          | 佐藤洋一郎 編                                | 2022/01 | 33001-1 | 3,080   | 2,500  |     |
|    | コレクションとアーカイヴ—東アジア美術研究の可能性             | 板倉聖哲・塚本麿充 編                            | 2022/01 | 37000-0 | 10,450  | 8,400  |     |
|    | 合戦図 描かれた〈武〉                           | 中根千絵・薄田大輔 編                            | 2021/12 | 32013-5 | 17,600  | 14,100 |     |
|    | 聖徳太子信仰とは何か                            | 榊原史子 著                                 | 2021/12 | 31007-5 | 4,180   | 3,300  |     |
|    | 玄奘三蔵—新たななる玄奘像をもとめて                    | 佐久間秀範・近本謙介・本井牧子 編                      | 2021/12 | 31005-1 | 13,200  | 10,600 |     |
|    | 書物に魅せられた奇人たち—英国愛書家列伝                  | 高宮利行 著                                 | 2021/12 | 39005-3 | 4,180   | 3,300  |     |
|    | 両面の鬼神（オンデマンド版）—飛騨の宿禰伝承の謎              | 尾関章 著                                  | 2021/12 | 85414-2 | 2,640   | 2,100  |     |
|    | 列伝体 妖怪学前史                             | 伊藤慎吾・氷厘亭氷泉 編                           | 2021/11 | 32010-4 | 3,080   | 2,500  |     |
|    | 従軍日記と報道挿絵が伝える庶民たちの日露戦争                | 西川武臣 著                                 | 2021/10 | 32008-1 | 4,180   | 3,300  |     |
|    | 室町文化の座標軸—遣明船時代の列島と文事                  | 芳澤元 編                                  | 2021/10 | 32011-1 | 10,780  | 8,600  |     |
|    | 日本中世社会と村住人                            | 蔵持重裕 編                                 | 2021/10 | 32009-8 | 10,450  | 8,400  |     |
|    | 英国初期印刷本研究への誘い<br>—書誌学から文学・社会・歴史研究へ    | 向井剛 著                                  | 2021/10 | 32012-8 | 6,600   | 5,300  |     |
|    | 核抑止の理論と歴史—核の傘の信頼性を焦点に                 | 矢野義昭 著                                 | 2021/10 | 33000-4 | 14,300  | 11,400 |     |
|    | 首里城を解く—文化財継承のための礎を築く                  | 高良倉吉 監修／島村幸一 編                         | 2021/09 | 32001-2 | 4,180   | 3,300  |     |
|    | 怪異学講義—王権・信仰・いとなみ                      | 東アジア怪異学会 編                             | 2021/09 | 32007-4 | 3,520   | 2,800  |     |

【勉誠出版】研究書 近刊・新刊書籍リスト(2022・2021刊行分)

|              |                                                         |                                         |         |         |        |        |  |
|--------------|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------|---------|---------|--------|--------|--|
|              | 戦国時代劇メディアの見方・つくり方<br>—戦国イメージと時代考証                       | 大石学・時代考証学会 編                            | 2021/09 | 32006-7 | 3,520  | 2,800  |  |
|              | 中世武家領主の世界—現地と文献・モノから探る                                  | 田中大喜 編                                  | 2021/08 | 32003-6 | 4,180  | 3,300  |  |
|              | 近世の村と百姓                                                 | 渡辺尚志 著                                  | 2021/08 | 32002-9 | 10,780 | 8,600  |  |
|              | 日本古代の仏教者と山林修行                                           | 小林崇仁 著                                  | 2021/08 | 31003-7 | 13,200 | 10,600 |  |
|              | 古建築調査ハンドブック                                             | 山岸常人・岸泰子・登谷伸宏 著                         | 2021/08 | 35000-2 | 1,540  | 1,200  |  |
|              | 杉田玄白と江戸の蘭学塾—「天眞樓」塾とその門流                                 | 片桐一男 著                                  | 2021/07 | 32004-3 | 7,700  | 6,200  |  |
|              | 古文書研究 第91号                                              | 日本古文書学会 編                               | 2021/07 | 32401-0 | 4,180  | 3,300  |  |
|              | もう一度読みたい日本の古典文学                                         | 三宅晶子 編                                  | 2021/07 | 39001-5 | 2,640  | 2,100  |  |
|              | 書物・印刷・本屋—日中韓をめぐる本の文化史                                   | 藤本幸夫 編                                  | 2021/06 | 30002-1 | 17,600 | 14,100 |  |
|              | 創られた由緒—近世大和国諸社と在地神道家                                    | 向村九音 著                                  | 2021/06 | 31002-0 | 8,800  | 7,000  |  |
|              | 中世寺院の仏法と社会                                              | 永村眞 編                                   | 2021/06 | 31001-3 | 13,200 | 10,600 |  |
|              | パブリック・ヒストリー入門（オンデマンド版）<br>—開かれた歴史学への挑戦                  | 菅豊・北條勝貴 編                               | 2021/05 | 82254-7 | 5,280  | 4,200  |  |
|              | 大宅壮一文庫解体新書—雑誌図書館の全貌とその研究活用                              | 阪本博志 編                                  | 2021/05 | 30001-4 | 3,850  | 3,100  |  |
|              | 三島由紀夫と日本国憲法                                             | 藤野博 著                                   | 2021/05 | 39002-2 | 3,300  | 2,600  |  |
|              | 改訂新版 中国学入門（オンデマンド版）<br>—中国古典を学ぶための13章                   | 二松學舎大学文学部中国文学科 編                        | 2021/04 | 80056-9 | 1,760  | 1,400  |  |
|              | 勤番武士の江戸滞在記—国枝外右馬江戸詰中日記                                  | 岩淵令治 編                                  | 2021/03 | 32000-5 | 11,000 | 8,800  |  |
|              | パリ・ノートル＝ダム大聖堂の伝統と再生—歴史・<br>信仰・空間から考える                   | 坂野正則 編                                  | 2021/03 | 31000-6 | 8,800  | 7,000  |  |
|              | 土地の記憶から読み解く早稲田<br>—江戸・東京のなかの小宇宙                         | ローザ・カーロリ 著／大内紀彦、<br>フィリッポ・ドルネッティ 訳      | 2021/03 | 22299-6 | 2,970  | 2,400  |  |
|              | 増補改訂新版 日本中世史入門—論文を書こう                                   | 秋山哲雄・田中大喜・野口華世 編                        | 2021/02 | 22280-4 | 4,180  | 3,300  |  |
|              | 中世の博多とアジア                                               | 伊藤幸司 著                                  | 2021/02 | 22300-9 | 10,450 | 8,400  |  |
|              | 戦国合戦図屏風の歴史学                                             | 高橋修 著                                   | 2021/02 | 22301-6 | 9,900  | 7,900  |  |
|              | 鷹狩の日本史                                                  | 福田千鶴・武井弘一 編                             | 2021/02 | 22297-2 | 4,180  | 3,300  |  |
|              | メソアメリカ文明ゼミナール                                           | 伊藤伸幸 監修／嘉幡茂・村上達也 編                      | 2021/01 | 22296-5 | 5,500  | 4,400  |  |
|              | 大嘗祭—隠された古層                                              | 工藤隆・岡部隆志・遠藤耕太郎 編                        | 2021/01 | 21057-3 | 4,180  | 3,300  |  |
|              | 絶滅危惧種を喰らう                                               | 秋道智彌・岩崎望 編                              | 2021/01 | 24014-3 | 3,520  | 2,800  |  |
|              | 古文書への招待                                                 | 日本古文書学会 編                               | 2021/01 | 22277-4 | 3,300  | 2,600  |  |
|              | 明治の一発屋芸人たち—珍芸四天王と民衆世界                                   | 永嶺重敏 著                                  | 2021/01 | 27058-4 | 3,850  | 3,100  |  |
| ■ 古典文学・文学史 ■ |                                                         |                                         |         |         |        |        |  |
| 近刊           | 樋口一葉詳細年表                                                | 伊藤氏貴・能地克宜 編                             | 2021/10 | 30007-6 | 16,500 | 13,200 |  |
|              | 日本近現代知識人・文学者の韓国認識                                       | 崔在喆 著                                   | 2021/08 | 39008-4 | 12,100 | 9,700  |  |
|              | 杜甫研究年報 第五号 〈杜甫研究年報〉                                     | 日本杜甫学会 編                                | 2022/04 | 39445-7 | 2,200  | 1,800  |  |
|              | 入門 中国学の方法                                               | 二松學舎大学文学部中国文学科 編                        | 2022/04 | 30005-2 | 1,760  | 1,400  |  |
|              | 訳注 琉球文学 『佐銘川大ぬし由來記』『周蘭両姓記事』<br>『思出草』『浮縄雅文集』『雨夜物語』『永峰和文』 | 島村幸一・小此木敏明・屋良健一郎 著                      | 2022/03 | 39009-1 | 12,100 | 9,700  |  |
|              | 本朝文粹抄 七                                                 | 後藤昭雄 著                                  | 2022/02 | 39511-9 | 3,520  | 2,800  |  |
|              | 飛鳥井家歌学の形成と展開                                            | 日高愛子 著                                  | 2022/01 | 39006-0 | 12,100 | 9,700  |  |
|              | 中国史書入門 現代語訳 北齊書                                         | 氣賀澤保規 監修／池田恭哉・岡部毅史・<br>梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之 訳 | 2021/12 | 29612-6 | 6,600  | 5,300  |  |
|              | 慶應義塾図書館蔵 論語疏卷六 慶應義塾大学附属<br>研究所斯道文庫蔵 論語義疏 影印と解題研究        | 慶應義塾大学論語疏研究会 編                          | 2021/11 | 31004-4 | 19,800 | 15,800 |  |
|              | 水門 第三十号—言葉と歴史 〈水門〉                                      | 水門の会 編                                  | 2021/11 | 32461-4 | 3,300  | 2,600  |  |
|              | 説話の東アジア—『今昔物語集』を中心に                                     | 高陽 著                                    | 2021/09 | 39004-6 | 13,200 | 10,600 |  |
|              | 谷崎潤一郎 美と生命の間                                            | 柴田勝二 著                                  | 2021/07 | 39003-9 | 3,960  | 3,200  |  |
|              | ビジュアル資料でたどる 文豪たちの東京<br>(オンデマンド版)                        | 日本近代文学館 編                               | 2021/05 | 89163-5 | 3,080  | 2,500  |  |
|              | 鉄幹晶子全集 別巻8—拾遺篇 書誌・年譜                                    | 逸見久美ほか 編                                | 2021/05 | 01093-7 | 9,900  | 7,900  |  |
|              | 杜甫研究年報 第四号 〈杜甫研究年報〉                                     | 日本杜甫学会 編                                | 2021/04 | 39444-0 | 2,200  | 1,800  |  |
|              | 物語文学の諸相と展開                                              | 中野幸一 著                                  | 2021/03 | 39000-8 | 13,200 | 10,600 |  |
|              | 韓国・朝鮮説話学の形成と展開                                          | 金廣植 著                                   | 2021/02 | 29201-2 | 12,100 | 9,700  |  |

【勉誠出版】研究書 近刊・新刊書籍リスト(2022・2021刊行分)

|              |                                            |                                 |         |         |        |        |  |
|--------------|--------------------------------------------|---------------------------------|---------|---------|--------|--------|--|
|              | 真田幸弘点取百韻 翻刻と解題                             | 玉城司・小幡伍 編著                      | 2021/02 | 29204-3 | 9,900  | 7,900  |  |
|              | 観相の文化史                                     | 相田満 著                           | 2021/02 | 29203-6 | 9,900  | 7,900  |  |
|              | 和漢朗詠集とその享受 増訂版                             | 三木雅博 著                          | 2021/01 | 29202-9 | 16,500 | 13,200 |  |
| ■日本語学・言語学■   |                                            |                                 |         |         |        |        |  |
|              | 論究日本近代語 第2集                                | 日本近代語研究会 編                      | 2022/03 | 38522-6 | 16,500 | 13,200 |  |
|              | 地域文化の可能性                                   | 木部暢子 編                          | 2022/03 | 32015-9 | 2,970  | 2,400  |  |
|              | 近代日本語教科書語彙索引                               | 伊藤孝行 編                          | 2021/10 | 38002-3 | 8,800  | 7,000  |  |
|              | 日本語文字論の挑戦<br>―表記・文字・文献を考えるための17章           | 加藤重広・岡嶋裕剛 編                     | 2021/03 | 38000-9 | 7,700  | 6,200  |  |
|              | コーパスと近代日本語書き言葉の一人称代名詞の研究                   | 近藤明日子 著                         | 2021/02 | 28052-1 | 9,350  | 7,500  |  |
|              | ベトナム語空間ダイクシスとその展開<br>―指示詞から文末詞・感動詞へ        | 安達真弓 著                          | 2021/05 | 38001-6 | 11,000 | 8,800  |  |
| ■〈アジア遊学〉■    |                                            |                                 |         |         |        |        |  |
| 近刊           | 275 「唐物」とは何か―舶載品をめぐる文化形成と交流                | 河添房江・皆川雅樹 編                     | 2022/10 | 32520-8 | 3,080  | 2,500  |  |
|              | 274 吳越国<br>10世紀東アジアに華開いた文化国家               | 瀧朝子 編                           | 2021/10 | 32521-5 | 3,520  | 2,800  |  |
|              | 273 日本の中世貨幣と東アジア                           | 中島圭一 編                          | 2021/09 | 32519-2 | 3,520  | 2,800  |  |
|              | 272 対馬の渡来版経―護り伝える東アジアの至宝                   | 横内裕人 編                          | 2021/08 | 32518-5 | 3,520  | 2,800  |  |
|              | 271 儒教思想と絵画―東アジアの勸戒画                       | 水野裕史 編                          | 2021/06 | 32517-8 | 3,520  | 2,800  |  |
|              | 270 日本中世の課税制度―段銭の成立と展開                     | 志賀節子・三枝暁子 編                     | 2022/05 | 32516-1 | 3,080  | 2,500  |  |
|              | 269 近代中国美術の境界<br>―越境する作品、交錯する藝術家           | 瀧本弘之・戦暁梅 編                      | 2022/05 | 32515-4 | 3,850  | 3,100  |  |
|              | 268 アジアの出産とテクノロジー<br>―リプロダクションの最前線         | 白井千晶 編著                         | 2022/03 | 32514-7 | 3,080  | 2,500  |  |
|              | 267 中国の娯楽とジェンダー―女が変える／女が変わ                 | 中国ジェンダー研究会 編                    | 2022/03 | 32513-0 | 3,080  | 2,500  |  |
|              | 266 大日本帝国期の建築物が語る近代史<br>―過去・現在・未来          | 上水流久彦 編                         | 2022/02 | 32512-3 | 3,080  | 2,500  |  |
|              | 265 宗教芸能としての能楽                             | 高橋悠介 編                          | 2022/01 | 32511-6 | 3,300  | 2,600  |  |
|              | 264 都市からひもとく西アジア―歴史・社会・文化                  | 守川知子 編                          | 2021/12 | 32510-9 | 3,080  | 2,500  |  |
|              | 263 室町前期の文化・社会・宗教<br>―『三国伝記』を読みとく          | 小助川元太・橋本正俊 編                    | 2021/11 | 32509-3 | 3,080  | 2,500  |  |
|              | 262 資料論がひらく軍記・合戦図の世界<br>―理文融合型資料論と史学・文学の交差 | 井上泰至 編                          | 2021/10 | 32508-6 | 3,520  | 2,800  |  |
|              | 261 古典は遺産か？<br>日本文学におけるテキスト遺産の利用と再創造       | Edoardo GERLINI・河野貴美子 編         | 2021/10 | 32507-9 | 3,080  | 2,500  |  |
|              | 260 アヘンからよむアジア史                            | 内田知行・権寧俊 編                      | 2021/09 | 32506-2 | 3,080  | 2,500  |  |
|              | 259 書物のなかの近世国家―東アジア「一統志」の時                 | 小二田章・高井康典行・吉野正史 編               | 2021/08 | 32505-5 | 3,300  | 2,600  |  |
|              | 258 史料が語る東インド航路―移動がうみだす接触領                 | 水井万里子・大澤広晃・杉浦末樹・吉田信・伏見岳志 編      | 2021/07 | 32504-8 | 3,080  | 2,500  |  |
|              | 257 交錯する宗教と民族―交流と衝突の比較史                    | 鹿毛敏夫 編                          | 2021/07 | 32503-1 | 3,080  | 2,500  |  |
|              | 256 元朝の歴史―モンゴル帝国期の東ユーラシア                   | 櫻井智美・飯山知保・森田憲司・渡辺健哉 編           | 2021/06 | 32502-4 | 3,520  | 2,800  |  |
|              | 255 東アジアにおける知の往還                           | 国文学研究資料館・高麗大学校グローバル<br>日本研究院 共編 | 2021/03 | 32501-7 | 3,080  | 2,500  |  |
| ■図書館学・アーカイブ■ |                                            |                                 |         |         |        |        |  |
|              | 調べ物に役立つ 図書館のデータベース                         | 小曾川真貴 著                         | 2021/08 | 30006-9 | 1,980  | 1,600  |  |
|              | 日米交流史の中の福田なをみ<br>―「外国研究」とライブラリアン           | 小出いずみ 著                         | 2022/02 | 30004-5 | 7,700  | 6,200  |  |
|              | 市民とつくる図書館―参加と協働の視点から                       | 青柳英治 編著                         | 2021/12 | 30003-8 | 2,200  | 1,800  |  |
|              | 新しい産業創造へ                                   | 時実象一 監修／久永一郎 責任編集               | 2021/05 | 20285-1 | 2,750  | 2,200  |  |
|              | 変化する社会とともに歩む学校図書館                          | 野口武悟 著                          | 2021/04 | 20081-9 | 2,420  | 1,900  |  |
|              | ささえあう図書館（オンデマンド版）<br>―「社会装置」としての新たなモデルと役割  | 青柳英治 編著／岡本真 監修                  | 2021/03 | 90039-9 | 1,980  | 1,600  |  |
|              | 日本の図書館建築―建築からプロジェクトへ                       | 五十嵐太郎・李明喜 編                     | 2021/03 | 20074-1 | 3,850  | 3,100  |  |

# 書物學

古今東西の知の宝庫に分け入り、  
読書の楽しさを満喫する！

## BIBLIOLOGY

特集

# 追憶のサムライ

## 中世武士の イメージとリアル

剛勇・清廉・潔白…現代に伝わる「武士」「サムライ」のイメージは、  
どのように創られ、語り継がれてきたのか？  
今話題沸騰中の大河ドラマ『鎌倉殿の13人』にも登場する  
畠山重忠・源実朝・源範頼など、中世武士のイメージの変遷を、  
様々な史料から丹念に読み解き、  
多数の文書・絵画・写真をフルカラーで紹介する。  
第二部では、横浜市立大学が所蔵する  
紀朝臣葛成壘田券、太政官牒北条時政副状写、吉見文書、  
新出文書の「加藤清正書簡」・「豊臣秀吉禁制」など、  
当時の武士たちの遺した古文書を紹介。  
中世武士のリアルに迫った決定版！

図版点数  
130点超



88〜2

追憶のサムライ―懐古あるいは新たな邂逅●阿諏訪青美

### 第二部 サムライイメージの創出と伝承

#### 第一章 サムライたちの実像

武士とは何か●五味文彦

「サムライ」王朝の記憶をひもとく●関幸彦

源実朝像の過去と現在●坂井孝一

徳川家康以前の『吾妻鏡』●西田友広

京の武士・鎌倉の武士●高橋慎一朗

北条政子危篤の報と公家社会●遠藤珠紀

御家人の所領経営をめぐって●井上聡

#### 第二章 武士イメージの地域創生

横浜・二俣川地域にみる畠山重忠イメージの創生●阿諏訪青美

【コラム】畠山重保の舞草刀と猫又●西田友広

【コラム】横浜市金沢区の畠山重忠・重保伝承●阿諏訪青美

武士の表象―描かれた畠山重忠イメージの「断層」●吉井大門

横浜鶴ヶ峰の畠山重忠顕彰活動と栗原勇●林宏美

【コラム】近代の案内誌にみる畠山重忠●相澤雅雄

源範頼の遍歴と横浜●阿諏訪青美

【コラム】斎藤実盛の兜●阿諏訪青美

近現代日本画のなかの武士

折井宏光《もののふの跡》●仁科可奈子

小堀鞆音筆《勇将義経》●吉井大門

御物「澤瀉威雛形鎧」復原模造製作●西岡文夫

鎌倉時代胴丸の想像復元

―薩摩国山田文書―に見える黒糸威胴丸について●豊田勝彦

### 第二部 サムライのリアル

―横浜市立大学所蔵古文書の世界

武士の「家」文書●阿諏訪青美

新出の朝鮮出兵関連文書一通●阿諏訪青美

【コラム】安保文書―北武蔵の中世武家文書●井上聡

【コラム】横浜市立大学所蔵小田切文書の「リアル」●福原圭一

公式様文書●佐藤信・柳沼千枝

横浜市立大学所蔵「新古今和歌集寛宴和歌」の世界

●横浜市立大学国際教養学部松本郁代ゼミレポート

―舟越康寿氏の古文書収集と地域研究

―横浜市立大学所蔵文書をめぐって●阿諏訪青美

「博物館紹介」横浜市歴史博物館●野口文恵

定価 一、九八〇円(税込)  
本体一、八〇〇円(税別)

B5判並製・一四四頁(フルカラー)  
二〇二二年十月刊行  
ISBN978-4-585-30720-4 C1000

| 書名                                                | 部数 |
|---------------------------------------------------|----|
| 〈書物学 20〉<br>追憶のサムライ 中世武士のイメージとリアル<br>横浜市歴史博物館 [編] | 部  |
| ご送付先ご住所 (通信欄)                                     |    |

定価 1,980円・本体1,800円

B5判並製・144頁(フルカラー)  
2022年10月刊行  
ISBN978-4-585-30720-4 C1000

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

# 書物学

定価 一、九八〇円(税込)  
定価 八〇〇円(＋税)

B5判並製・一二八頁(フルカラー)  
二〇二二年二月刊行  
ISBN978-4-585-30719-8 C1000

古今東西の知の宝庫に分け入り、  
読書の楽しさを満喫する！

BIBLIOLOGY

●特集

## 紙のレンズから見た古典籍

古典籍や古文書に使用されている紙は、  
いったいどのような製法により作られたものなのか。  
先人たちは紙にどのような加工や工夫を凝らしてきたのか――。

旧来の書誌学・書物学的検討に加え、  
高精度デジタルマイクロスコープや機械学習など、  
最先端の技術を組み合わせ、  
古典籍の世界を「紙」というレンズから探る！

特集もくじ

- ◎穀物澱粉添加による紙の改質…江南和幸
- ◎和紙のモルフオロジー解析…澤山茂
- ◎家の字問と写本にみる打紙加工…赤尾栄慶
- ◎源氏物語写本の打紙は何を語るか…横井孝
- ◎明融本源氏物語と打紙…上野英子
- ◎『修紫田舎源氏』の絶板と用紙…佐藤悟
- ◎『大清聖祖仁皇帝實録』の紙質…徐小潔
- ◎打紙再現試料から繊維の形状と表面の粗さを見る…大和あすか・鈴木七実
- ◎紙質観察画像のデータベース構築と自動分類に関する試み…中村寛
- ◎データ駆動型研究とマテリアル分析…山本和明

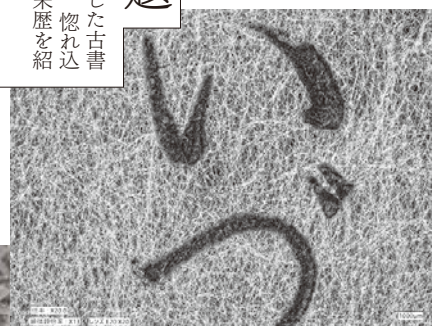
特別寄稿

御膳本草の周辺 ―それぞれの写本…横山學  
熱帯季題と風土 ―台湾の俳句と郷土の創成…井田太郎  
西洋古典建築書にみられる東向き図書館…吉川也志保

●新連載

### 松朋堂 新収古書解題

二〇二〇年、あらたに開業した古書店「松朋堂」。店主が出会い、惚れ込んだ様々な古典籍の書誌・来歴を紹介する瞠目の新連載！



古典籍に  
用いられた紙の  
拡大画像

連載

〈新連載〉松朋堂新収古書解題…佐藤道生  
書物の声を聞く ―書誌学入門…佐々木孝浩  
書籍はどう動いたのか ―近代書籍流通史料の世界…磯部敦  
西洋古書の遠近法…雪嶋宏一

| 書名                                  | 部数 |
|-------------------------------------|----|
| 〈書物学 19〉<br>紙のレンズから見た古典籍<br>編集部 [編] | 部  |
| ご送付先ご住所（通信欄）                        |    |

定価 1,980円・本体1,800円

B5判並製・128頁(フルカラー)  
2022年2月刊行  
ISBN978-4-585-30719-8 C1000

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

# 伝達と変容の 日本建築史

伝わるかたち／伝えるわざ

野村俊一〈編〉

貴重な史資料が織りなす  
「かたち」と「わざ」の日本建築史

建築は多くの異なる部分が集合して全体が編成される。

組物や彫物、座敷飾りなどの実在の建築を成立させる「モノ」、  
あるいは、モノや人間とのさまざまな相関により拡がる「空間」、  
時間や場所、文脈を超えながらそれぞれに取捨選択され、  
その組合せが多種の「かたち」を織りなすことで、  
豊かな建築の世界を創り出していった。

そして、この建築の「かたち」を繰り出し、伝えていくためには、  
大工技術や図面表記法をはじめとする、さまざまな「わざ」の工夫があった。

各地に残る建築の歴史に関わる諸種の資料は、  
これら「かたち」と「わざ」相互の反復運動が、  
時代とともに建築の歴史の一端を紡いでいったことを如実に示している。

日本建築史を彩る素晴らしい「かたち」と「わざ」の世界を、  
190点を超えるカラー図版とともに読み解く画期的な一冊！

編者プロフィール

野村俊一（のむら・しゅんいち）

東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻准教授、博士（工学）。  
〔主要業績〕建築遺産「保存と再生の思考」―災害・空間・歴史―（共編、東北大学出版会、二〇一二年）、  
「黎明期の五山叢林とその建築行事」（共著、小島毅監修・島尾新編「東アジア海域に漕ぎだす」4 東アジア  
のなかの五山文化」東京大学出版会、二〇一三年）、「建長寺指図」と仏殿・法堂・衆寮」（共著、村井章介  
編「東アジアのなかの建長寺」宗教政治文化が交又する禅の聖地」勉誠出版、二〇一四年）などがある。

カラー図版  
190点超  
掲載！

## 目次

〔総論〕  
建築が伝わること／建築を伝えること◎野村俊一

## 第一部 伝わるかたち

- 1 組物1……古代建築の組物とその変遷
- 2 組物2……中世取捨選択される軒下
- 3 幕股……伝播とたたどり
- 4 木鼻……伝わる線形
- 5 仏の空間……密教・浄土の表現と伝播
- 6 障壁画……世界の表象と格式
- 7 座敷飾……飾りの編成
- 8 御所……追憶される平安宮
- 9 神社……神明造の差異と反復
- 10 伽藍……禅院の伽藍とその変容
- 11 大仏殿……東山大仏殿・豊臣政権の栄華とその記憶
- 12 層塔……層塔建築の系譜
- 13 楼閣……みることの欲望と制度

## 第二部 伝えるわざ

- 14 大工道具……工匠と技術・道具
- 15 小建築……小建築の造形
- 16 絵図1……図法と視点
- 17 絵図2……信仰と絵解き
- 18 図面1……建地割図の誕生と指図
- 19 図面2……近世の建地割図が果たした役割
- 20 図面3……仙台藩の建築絵図と伝えるわざ
- 21 大工文書……技術の表現とメディア
- 22 起し絵図……起し絵図の多彩な形式と機能

## 〔小論〕

- 1 日本建築における過去の継承と復古◎加藤悠希
- 2 技術伝播・工匠・道具◎海野聡
- 3 伝統的な図面表現と建築の近世・近代◎中村琢巳

## 〔講演〕

建築の情報はどうのように伝わったのか◎光井渉

## 〔資料〕

- 巻末参考図版
- 01 建築部材名称
  - 02 三手先隅組物の系譜
  - 03 組物の種類
  - 04 掲載作品分布図
- 掲載作品目録  
参考文献一覧

あとがき◎野村俊一  
執筆者紹介

定価 3,850円(税込)  
本体 3,500円

B5判・並製カバー装・216頁  
ISBN978-4-585-35001-9 C1052  
2022年7月刊行

| 書名                                                    | 部数                                                                                               |
|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>伝達と変容の日本建築史</p> <p>伝わるかたち／伝えるわざ</p> <p>野村俊一〈編〉</p> | <p>定価3,850円(本体価格3,500円)</p> <p>B5判・並製カバー装・216頁<br/>2022年7月刊行<br/>ISBN978-4-585-35001-9 C1052</p> |
| ご送付先ご住所（通信欄）                                          |                                                                                                  |

# 資料論がひらく 軍記・合戦図の世界

アジア遊学  
262

井上泰至〔編〕

理文融合型資料論と史学・文学の交差

学問の対話が切りひらく  
新たな沃野

文学・歴史に関する資料の研究は、近年進展が著しい理工学の研究方法を導入して、大きな変化の節目を迎えつつある。そこには文学・史学で個別に蓄積してきた資料への知見の垣根を超える新地平が広がっている。電子顕微鏡調査、クラスター分析などの理工学的手法を利用した研究、文学・史学・美学の枠組みを飛び越える新たな資料論など、諸学の交差領域である合戦図・軍記を中心に、最先端の研究状況とこれからの課題を指し示す画期的成果。

【編者紹介】

井上泰至

いのうえ やすし

防衛大学校教授。専門は日本近世文学。

主な著書に『近世刊行軍書論』(笠間書院、二〇一四年)、『近世日本の歴史叙述と対意識』(編著、勉誠出版、二〇一六年)、『関ヶ原はいかに語られたか』(編著、勉誠出版、二〇一七年)、『関ヶ原合戦を読む——慶長軍記 翻刻・解説』(勉誠出版、二〇一八年)などがある。



【目次】

カラー口絵

序文：井上泰至

## Ⅰ●理文融合型資料論の実践

コディコロジー(文理融合型総合典籍学)の実践(基調講演)……石塚晴通

「コメント」……佐々木孝浩

『聚楽行幸記』の写本学……竹内洪介

「コメント」……佐々木孝浩・堀 新

豊臣秀吉冊封関連史料に紙質から迫る

——三通の明国兵部劄付原本の検討……須田牧子

「コメント」……佐々木孝浩・堀 新

計量テキスト分析を用いた戦国軍記の分類……山本 洋

「コメント」……湯浅佳子・入口敦志

デジタル技術による合戦図屏風の再生

——大坂冬の陣図屏風 模本のデジタル想定復元について……薄田大輔

「コメント」……湯浅佳子・黒田 智・入口敦志

草双紙における上紙摺の意義……佐藤 悟

近世彩色絵画資料における色材の分析……日比谷孟俊・大和あすか

## Ⅱ●史学と文学研究の交差——十七世紀の軍記と関連資料への視座

山内首藤氏の「討死」と『平治物語』『平治物語絵巻』『平治合戦図屏風』……川合 康

天正十六年『聚楽行幸記』の成立について……遠藤珠紀

古活字版『帝鑑図説』再考……『帝鑑図説』は本当に(秀頼版)か……高木浩明

南庵『信長記』とその周辺……『太平記秘伝理尽抄』との関わり……湯浅佳子

『慶長治乱記』にみる関ヶ原合戦軍記の展開……林 晃弘

## Ⅲ●兵学と有職学——十九世紀の軍記と関連資料の展開

田安宗武の武家故実研究——『軍器摘要抄』をめぐる……高松亮太

旧海軍兵学校蔵蔵見文庫『兵家系図』をめぐる……井上泰至



書 名

部 数

資料論がひらく軍記・合戦図の世界

理文融合型資料論と史学・文学の交差

井上泰至〔編〕

【アジア遊学 262】

定価3,520円(税込)・本体3,200円

A5判並製カバー装・口絵12頁+本文224頁  
2021年10月刊行  
ISBN978-4-585-32508-6 C1321

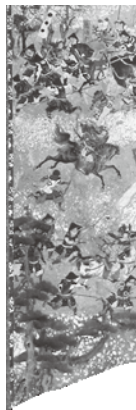
部

ご送付先ご住所(通信欄)

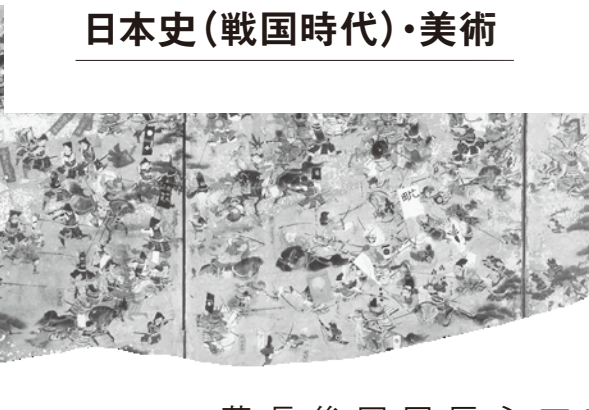
勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025



「戦国合戦図屏風」はなぜ作られたのか？



豪華絢爛！細密の極致！



「川中島合戦図屏風」



「長篠・長久手合戦図屏風」

# 戦国合戦図屏風の歴史学

高橋 修 [著]

点数223点  
図版

## 【目次】

カラー口絵  
序 論…「戦国合戦図屏風」の世界

### 第一部◎「川中島合戦図屏風」と甲越軍学

第一章…紀州本「川中島合戦図屏風」と紀州徳川家  
第二章…軍学者宇佐美定祐について  
——紀州本「川中島合戦図屏風」の周辺  
第三章…甲越軍学の軌跡  
——山本勘助と宇佐美駿河守を生み出したもの

「補説」…享保二年(一七一七)四月十五日付  
栗林次郎左衛門(政盛)宛大河原重祐要門流印可状

第四章…山本勘助と「甲陽軍鑑」

「補説二」…狩野文庫の杉山家資料

第五章…「武田信玄配陣図屏風」と「武田信玄本陣之図」について  
——米沢市上杉博物館蔵「川中島合戦図屏風」

第六章…ミュージアム中仙道蔵「川中島合戦図屏風」の  
——画面構成と成立背景

図像的特徴と成立背景——公武協調の時代と「上杉謙信」

### 第二部◎「長篠・長久手合戦図屏風」

第七章…「長篠・長久手合戦図屏風」の概要と論点

第八章…「長久手合戦図屏風」の成立と展開

第九章…「長篠合戦図屏風」を読む

第十章…尾張・紀伊兩徳川家における小牧・長久手合戦の研究と顕彰  
——豊田市郷土資料館蔵「長篠・長久手合戦図屏風」の  
図像的特徴と成立背景

### 第三部◎「合戦図屏風」の諸相

第十二章…「賤ヶ岳合戦図屏風」と「川角太閤記」

第十三章…「蔚山合戦図屏風」(朝鮮軍陣図屏風)の成立と展開

第十四章…和歌山県立博物館蔵「壬辰倭乱図屏風」について

第十五章…「関ヶ原合戦図屏風」の概要と研究の現状

第十六章…「長谷堂合戦図屏風」

第十七章…「湊川合戦図屏風」の世界

第十八章…「結城合戦絵詞」とは何か

補 論…その他の作品の手引き

総 論…総括と課題

戦国合戦図屏風所在一覧  
あとがき／初出一覧／索引

本体 9,000 円(+税)

A5判・上製カバー装  
カラー口絵32頁+本文496頁  
ISBN978-4-585-22301-6 C3021  
2021年2月発売

| 書 名                                            | 部 数                                                                                         |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>戦国合戦図屏風の歴史学</b><br>高橋 修 [著]<br>ご送付先ご住所(通信欄) | 本体 9,000 円(+税)<br>A5判・上製カバー装<br>カラー口絵32頁+本文496頁<br>2021年2月発売<br>ISBN978-4-585-22301-6 C3021 |

# 宗教芸能としての能楽

アジア遊学  
265

高橋悠介[編]

寺社文化圏や唱導との関わりの中から、多くの作品が生み出されてきた能楽。

能作品には、中世の寺社のありようや信仰、学問、宗教文化が反映されているが、その宗教的な背景は、未だ充分に明らかにされていない部分が多い。

中世日本の宗教的な知は、どのように能楽に流れ込み、作品世界を形成していったのか。

能作品や能楽論の中の

仏教や神祇に関わる面を掘り下げること、

宗教芸能としての能楽について考えるとともに、

能を通して、室町の宗教文化の一端を明らかにする。

## 【編者紹介】

高橋悠介（たかはし ゆうすけ）

慶應義塾大学附属研究所道文庫准教授。専門は日本文学・寺院資料研究。主な著書、論文に『禅竹能楽論の世界』（慶應義塾大学出版会、二〇一四年）、「諸社口決」と密教的社参作法の展開」『中世に架ける橋』森話社、二〇二〇年）、「身体生成をめぐる思想と中世仏教——五蔵観・魂魄・胎内説」（『日本宗教史3 宗教の融合と分離・衝突』吉川弘文館、二〇二〇年）などがある。

## 【目次】

序言 ● 高橋悠介

### 1 能をめぐる宗教的環境／能に描かれる宗教空間

除魔・結界の呪法と芸能——「翁」の成立環境と、その近隣 ● 大東敬明  
春日若宮と能楽

——若宮臨時祭、法楽能、祈雨立願能をめぐる ● 天野文雄

謡曲《絵馬》管見——長祿三年伊勢斎宮の旅 ● 芳澤元

能《巻絹》に描かれた熊野の神仏 ● 高橋悠介

### 2 能作品と仏教説話／唱導／要句

韋駄天説話の源流と変容

——唐宋代の諸伝承と律学受講の場を視点に ● 西谷功

能《安字》の説話的考察——文字を買う話と男装の論理 ● 岩崎雅彦

能《海士》の構想 ● 中野顕正

能《重衡》の表現と思想

——「寒林に骨を打つ霊鬼は」の句をめぐる ● 猪瀬千尋

能における宗教関係語句一斑

——《放下僧・春日龍神・楊貴妃・草子洗・三輪》について ● 落合博志

「コラム」狂人走れば不狂人も走る」攷——《関寺小町》試注 ● 佐藤嘉惟

### 3 能楽論・能作品と教説の間

世阿弥と如来蔵——「離見の見」の内包するもの ● 小川豊生

能《芭蕉》の構想と草木成仏説 ● 高尾祐太

《求塚》の墮地獄と論理 ● 中嶋謙昌

「コラム」術婆伽説話の生成と展開

——恋は病か、破戒か、神を招くか ● 平間尚子

### 4 謡曲注釈学の黎明期

「コラム」『江口本聞書』——初期の謡曲注釈書とその伝来 ● 高橋悠介

吉田兼右・兼見の謡曲註釈と『謡抄』

——『謡抄』前史の謡曲註釈と吉田神道 ● 野上潤一

| 書名                     | 部数 |
|------------------------|----|
| 宗教芸能としての能楽<br>高橋悠介 [編] | 部  |
| ご送付先ご住所（通信欄）           |    |

定価 3,300 円 (税込)・本体 3,000 円  
A5判並製カバー装・280 頁  
2022 年 1 月刊行  
ISBN978-4-585-32511-6 C1314

# 中世神道入門

カミとホトケの織りなす世界

伊藤 聡  
門屋 温  
〔監修〕

新井大祐  
鈴木英之  
大東敬明  
平沢卓也  
〔編〕

ダイナミックな発展を遂げた

中世日本の神道がわかる、

初のガイドブック！

日本古来の信仰でありながらも、

時代とともにめまぐるしい変化を遂げてきた「神道」。

中世日本では、仏教と神道の融合現象——「神仏習合」が

極めて発展的な展開をみせ、両部神道・伊勢神道・吉田神道など、

さまざまな神道の流派の諸派が生まれた。

また、儀礼のありかた、

体系的に組み合わせられた空間・図像・言説などにより、

独自の世界観・世界像を築き、同時代の宗教のみならず

政治・文化にも多大な影響を与えてきた。

近年、急速に研究の進展する「中世神道」の見取り図を、

「神道の流派」「基本的な概念」「中世の神々」「神話モチーフ」

「神道をめぐる人々」「イメージ」「神道書」など

テーマごとに立項し、第一線で活躍する研究者が、

多数の図版とともにわかりやすく解説する決定版！

## 【監修者プロフィール】

伊藤 聡 (いとう・さとし)

茨城大学人文社会科学部教授。専門は日本思想史、神道論。  
著書に『神道の中世——伊勢神宮・吉田神道・中世日本紀』  
(中公選書、二〇二〇年) などがある。

門屋 温 (かどや・あつし)

清泉女子大学非常勤講師。専門は日本宗教思想史。  
論文に「神道をめぐる幻想の正体」「療法としての歴史  
(知)」森話社、二〇二〇年) などがある。

## 【目次】

カラー口絵

序 言

### 1 総 論

中世神道とは／神仏習合の諸相／中世神道  
流派概説／神道伝授のかたち

### 2 中世の神々

古典神の変貌／広がる信仰／習合神の諸相  
／鎌倉仏教の神

### 3 中世神話のモチーフ

### 4 中世神道の

イメージとイコノロジー

### 5 中世神道をめぐる人々

### 6 中世神道書の世界

中世日本紀／両部神道／伊勢神道／山王神  
道／吉田神道／その他

【附説】 欧米言語による中世神道研究

【附録】 中世神道研究のための文献リスト

あとがき

執筆者紹介

定価 四、一八〇円(税込)  
本体三、八〇〇円

A5判並製カバー装・  
カラー口絵八頁＋本文三九二頁  
二〇二二年四月刊行  
ISBN978-4-585-31006-8 C1014

| 書 名                                                                     | 部 数 |
|-------------------------------------------------------------------------|-----|
| <b>中世神道入門</b><br>カミとホトケの織りなす世界<br>伊藤聡・門屋温〔監修〕<br>新井大祐・鈴木英之・大東敬明・平沢卓也〔編〕 | 部   |
| ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)                                                        |     |

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

水野裕史 [編]

アジア遊学 271

# 儒教思想と絵画

## 東アジアの勸戒画

人びとの思想や生活において、  
絵画はどのように機能し、展開していったのか――

古来、絵画は、ひとつ鑑賞の目的のみならず、  
そこに描かれた題材や物語から、

あるべき生き方、做すべき考え方を学び、  
自らを顧みるための装置として存在していた。

特に東アジアにおいては、  
中国を淵源とする儒教思想に基づき、

善行を勧め、悪行を戒めるために描かれた  
『勸戒画（かんかいが）』がひろく作成され、

それらは、いまなお

各地に多種多様な作品として伝存している。

古代から近代における『勸戒画』の諸相を

多角的に考察、作品が生まれ、受容された時代の

思想・文化を捉えなおすとともに、

時代を超えて、見る者の「鑑」となる

美術作品の力を再認識する刺激的な一冊。

編者プロフィール

水野裕史

（みずの・ゆうじ） 筑波大学芸術系助教授。専門は日本美術史。

論文に「狩野永納筆『秀吉鷹狩絵巻』下絵と勸修寺家」「『テアルテ』三三三号、九州藝術学会（二〇一七年）Symbol of Power: Japanese Falconry Images (8th to 17th centuries), Raptor on the fist: falconry, its imagery and similar motifs throughout the millennia on a global scale, Wachholz Verlag GmbH, 2020」「鷹狩の絵画——近世初期における鷹狩への眼差し」（福田千鶴・武井弘一編『鷹狩の日本史』勉誠出版、二〇二一年）などがある。

### 目次

カラー口絵

序文 水野裕史

総説——勸戒画の系譜……水野裕史

### 1部 勸戒画の成立

勸戒のシンボル——礼拝空間における孔子祭祀のあり方……守屋正彦

漢代画像石にみる儒教的モチーフ

墓域という空間におけるその機能……植山満照

女史箴図が語るもの……森橋なつみ

大英博物館所蔵の報恩経交相Seien Painting 12の

画像に関する一考察……勝木三郎

元三大師御籤本と儒教思想——「貴人」像の考察……日高衣紅

### 2部 勸戒画の題材

玄宗皇帝給にみる勸戒性——長恨歌絵を中心に……鷺頭桂

王昭君図——勸戒画への発展……中村玲

耕織図の受容と展開——足利將軍家の梁楷の画巻を中心に……畑靖紀

二十四孝図——元覚図の「棄老」と「諫め」をめぐって……宇野瑞木

仏儒道三教一致思想の絵画

「三聖図」三笑図・三酸図をめぐって……高橋真作

「三才図」中庸の美——敬器図……水野裕史

「三才図」求められた婦女像……寺田早苗

### 3部 帝王学の書と絵——帝鑑図

万曆帝、張居正と『帝鑑図説』……林麗江（尾川明穂訳）

「帝鑑図」の変遷

——青蓮院・名古屋城・熊本城の

障壁画と仙台藩の事例から……葉師寺君子

フランス革命前夜ヨーロッパにおける『帝鑑図説』受容について……井川義次

帝鑑図と徳川將軍……松島仁

### 4部 勸戒画を使った人と空間

宋代皇帝と勸戒の空間——「無逸図」と「山水図」……塚本麿充

「莊嚴」する瑞獸——將軍家光の先祖祭祀における勸戒画……山澤学

日本の文人画と勸戒（鑑戒）思想……杉本欣久

岡倉寛三（天心）の儒教美術観……林みちこ

掲載図版  
150点超！



定価 3,520 円(税込)  
本体 3,200 円

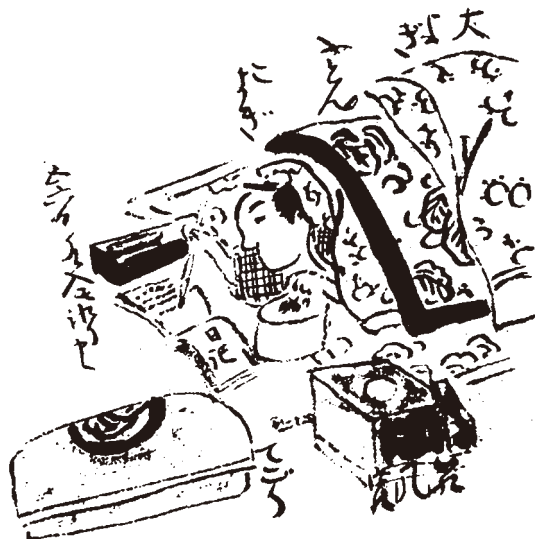
A5判並製カバー装  
312頁(カラー口絵8頁+本文304頁)  
ISBN978-4-585-32517-8 C1370  
2022年6月刊行

| 書 名                                                | 部 数                                                                                                     |
|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>儒教思想と絵画</b><br>東アジアの勸戒画 【アジア遊学 271】<br>水野裕史 [編] | 定価 3,520 円(税込)・本体 3,200 円<br>A5判並製カバー装<br>312頁(カラー口絵8頁+本文304頁)<br>ISBN978-4-585-32517-8 C1370 2022年6月刊行 |
| ご送付先ご住所・氏名（通信欄）                                    |                                                                                                         |

岩淵令治〈編〉

(いわぶち・れいじ)一九六六年生まれ。学習院女子大学国際文化交流学部教授。専門は日本近世都市史。著書に『江戸武家地の研究』(塙書房、二〇〇四年)、『史跡で読む日本の歴史』9(編著、吉川弘文館、二〇一〇年)、『江戸の発見と商品化』(編著、岩田書院、二〇一四年)、『論文に「巨大都市江戸」における居住者と自己認識」(渡辺浩一/ヴァネッサ・ハーディング編『自己語りと記憶の比較都市史』勉誠出版、二〇一五年)、『江戸における鷹匠の交流』(福田千鶴・武井弘一編『鷹狩の日本史』勉誠出版、二〇二一年)などがある。

定価 一一、〇〇〇円(税込)〔本体一〇、〇〇〇円〕・A5判上製カバー装・五二二頁(十カラー一六頁)・二〇二一年五月刊行・ISBN978-4-585-32000-5 C3021



## 新たな江戸像を描き出す貴重史料

天保改革期に白杵藩士・国枝外右馬が、参勤交代で江戸勤番の間に書き残した一年分の日記史料の全編を初めて活字化。一四〇点に及ぶ挿絵とともに紹介する。四十代にして初めて見る江戸の様子や、自分の仕事ぶりを息子たちに伝える生き生きと愛らしい絵入りの詳細な記述は、研究史料として稀有なだけでなく、専門家以外の読者にも江戸の人々を身近に感じさせる興味深い史料である。外からやってきた勤番武士による江戸の報告は、地元人間が発信するものとは異なる新たな江戸像を示すものとなるだろう。

# 勤番武士の江戸滞在記

## 国枝外右馬江戸詰中日記

くにえだどうしやまどうめちゅうじつ

本書の構成

カラー口絵

序文・凡例

【日記翻刻】

国枝外右馬江戸詰中日記 第一冊

天保十三年四月〜九月朔日迄十四日迄

国枝外右馬江戸詰中日記 第二冊

九月十四日夕々晦日迄〜天保十四年五月

【解説】

解題―岩淵令治

国枝外右馬とその周辺

放送大学千葉学習センター「古文書を読む会」

挿絵一覧・あとがき



| 書名                                            | 部数       |
|-----------------------------------------------|----------|
| <p>勤番武士の江戸滞在記<br/>国枝外右馬江戸詰中日記<br/>岩淵令治〈編〉</p> | <p>部</p> |
| <p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>                           |          |

定価11,000円(税込)・本体10,000円

A5判上製カバー装・512頁(+カラー口絵16頁)  
2021年5月刊行  
ISBN978-4-585-32000-5 C3021

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 FAX03-5215-9025

FAX●03-5215-9025

# 近世期百姓の 土地所持意識と 村落共同体

菅原 一 〈著〉

信州地域東部から北部における

村落共同体・地主・小百姓の

三者の関係性に着目、

「無年季的質地請戻し慣行」

「直上納制」

「村方騒動」という

近世期固有の三つの事項を具体的に検討。

近世中後期の村落共同体の

変容過程を明らかにする。

著者プロフィール

菅原 一 (すがはら はじめ)

同志社大学文学文化史学科卒業。学習院大学大学院人文科学研究科博士前期課程修了、博士。一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。現在、国文学研究資料館プロジェクト研究員。  
主な論文に「天保三年宿助郷助成金政策と幕藩体制の変容」(『日本歴史』第87号、二〇二〇年)、「天保期宿助・助郷助成金政策の背景」(『史学雑誌』131編第3号、二〇二二年)などがある。

## 目次

序章 本書の目的と構成

第一章 無年季的質地請戻し慣行と直上納制  
——信州上田藩領房山村丸山家を事例に——(上)

第二章 無年季的質地請戻し慣行と直上納制  
——信州上田藩領房山村丸山家を事例に——(下)

第三章 近世後期における直上納制と地主的土地所持  
——信州松代藩を事例として——

第四章 近世中期の直上納制と土地所持秩序の変容  
——信州松代藩を事例として——

第五章 近世中・後期信州における  
無年季的質地請戻し慣行の実態と展開  
——信州水内郡栗田村の高戻りを事例にして——

第六章 近世後期村方騒動における  
村落共同体の変容主体  
——無年季的質地請戻し慣行と関連付けて——

第七章 近世後期小作出入における先規と新法  
——これからの展開のために——

終章 本書の総括と今後の課題

あとがき

初出覧／主要文献目録／索引

本書の特色

一定の地域を一定の時間軸の下で集中的に考察することにより、当該地域の抱えた共通の課題と村落共同体の変容過程を明らかにする。

定価 8,800 円(税込)  
本体 8,000 円

A5判・上製カバー装・336頁  
ISBN978-4-585-32019-7 C3021  
2022年8月刊行

書名

近世期百姓の  
土地所持意識と村落共同体  
菅原 一 〈著〉

定価8,800円(本体価格8,000円)

A5判・上製カバー装・336頁  
2022年8月刊行  
ISBN978-4-585-32019-7 C3021

部数

部

ご送付先ご住所(通信欄)

勉誠出版

※万一のご返本の際は、青木了解で受付いたします。  
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

# むら人たちの生活モード

## 中世日本民衆生活史入門

### 蔵持重裕(著)

日本中世の村・浦の姿を読み解く

若狭国に西津荘多鳥浦(福井県小浜市田鳥地区)という

小さな一つの村があった。

鎌倉時代、当地の人々は、

漁業・塩業を営み、わずかばかりの田と山の畠を耕して生きてきた。

この小さな漁村には、大変珍しいことに、

鎌倉時代から室町時代にかけての文書、歴史史料が多数遺されている。

人々はどのように働き、財産を蓄え、村を豊かにしようとしたのか。

何を信仰し、どのように紛争を収め、領主や幕府などの権力者とうり渡り合ったのか。

遺された史料を博搜し、

中世日本のむら人たちの生活モード＝生活の様態、流儀を丹念に読み解く快著。

#### 「目次」

はじめに

ねらい／すがた／あるく／交流／多鳥浦研究のねらいと論点  
(付記)ムラ・むら・村とは

第Ⅰ章 惣る村——機能単位組織の存在——

惣在家講／山の百姓講／惣百姓／むらの惣百姓

第Ⅱ章 百姓の逃亡とむらの形成

逃亡と立志／浦の立て始め／状の成り立ち／徳政 代替わり  
徳政／説話の構造／始源／形成

第Ⅲ章 刀祢職——秦家——

職掌／財産と機能／金融機能／武士

第Ⅳ章 村の生業と人々の結びつき

年貢・公事／塩業／漁業・廻船

第Ⅴ章 住人——縁と身分——

村の住人／名前と身分／親族のひろがり

第Ⅵ章 村住人の信仰

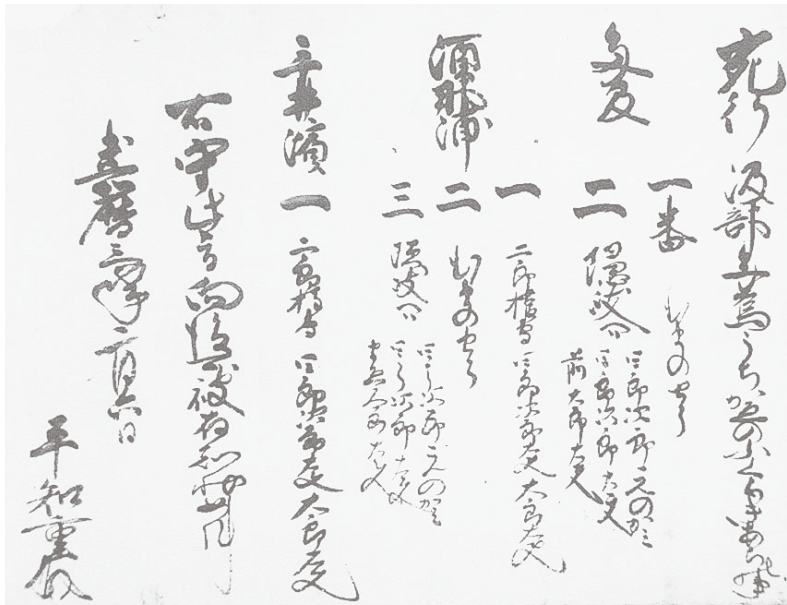
自然な信仰と仏教／死／神信仰、祈りと崇り／信仰の流れ／  
天満宮の造営

第Ⅶ章 危機管理と交流

生業をめぐる紛争／紛争の流れと性格／自力救済／来訪者／  
紛争の時空

むすび

ムラ・むら・村の自立性／多鳥浦史のながれ  
おわりに  
あとがき



蔵持重裕(くらもち・しげひろ)

立教大学名誉教授。専門は日本中世史。  
著書に『日本中世村落社会史の研究』(校  
倉書房、一九九六年)、『中世村落の形成  
と村社会』(吉川弘文館、二〇〇七年)、編  
著に『中世の紛争と地域社会』(岩田書  
店、二〇〇九年)、『日本中世社会と村住  
人』(勉誠出版、二〇二二年)などがある。

定価 4,180 円(税込)  
本体 3,800 円

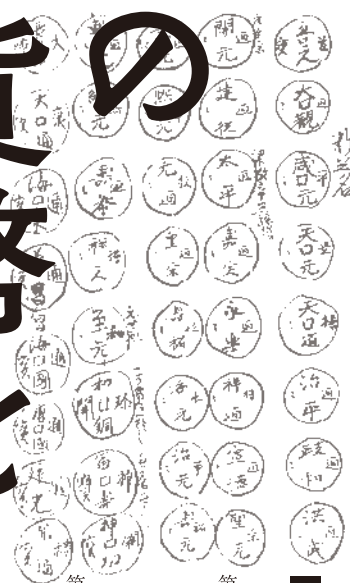
四六判・並製カバー装・424頁  
ISBN 978-4-585-32018-0 C3021  
2022年10月刊行

| 書 名                                                 | 部 数                                                                                       |
|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>むら人たちの生活モード</b><br><b>中世日本民衆生活史入門</b><br>蔵持重裕(著) | 定価 4,180 円(本体価格 3,800 円)<br>四六判・並製カバー装・424頁<br>2022年10月刊行<br>ISBN 978-4-585-32018-0 C3021 |
| ご送付先ご住所(通信欄)                                        |                                                                                           |

中島圭一 [編]

# 日本の中世貨幣と東アジア

アジア遊学 273



モノの流通、経済の発展において要となる貨幣。古来、その発行は、国家形成における重要なタームの一つであるが、中世日本においては、

朝廷や幕府など公権力による貨幣発行はなされず、唐・宋・元・明などの中国歴代王朝により作られた銭が大量に流入し、さらには朝鮮半島の高麗・朝鮮やベトナムなど周辺諸国のものも加わり、それらの渡来銭を用いた貨幣流通が本格化する状況が現れることとなった。

公権力による裏付け・保証のない渡来銭が如何に国内通貨となり得たのか。

遠隔地決済を可能とする為替制度は、どのような信用基盤の上に成り立っていたのか。

そして、数百年間続いた渡来銭を基盤とする貨幣流通の状況に終止符をうった要因は何なのか。

貨幣というものの性質を考えるうえで

興味深い問題を多数孕む日本の中世貨幣を、

文献・考古資料を博搜し、東アジアの視点からも捉えなおす画期的成果。

## 目次

序言……中島圭一

## 第一部 中世貨幣の成立と展開

渡来銭流通の開始と確立をめぐる……中島圭一  
中世手形の信用とその決済システムについて……伊藤啓介  
割符のしくみの応用技術……井上正夫  
中世日本に銭は足りていたか……高木久史

## 第二部 貨幣をめぐる明と日本

永樂通寶日本流入経路の検討……古澤義久  
——東南アジア経路説の提唱……川戸貴史

永樂銭の流通……大田由紀夫  
中世後期日本の貨幣流通と東アジア……大田由紀夫  
撰銭と東アジア貨幣流通……中島樂章

## 第三部 出土銭からみた貨幣流通

個別出土銭からみた貨幣流通の地域差……石神裕之  
——東国を中心に……櫻木晋一

出土銭貨研究の諸相……宮城弘樹

琉球列島の出土銭貨……三宅俊彦  
東ユーラシアの銭貨流通モデル……千枝大志

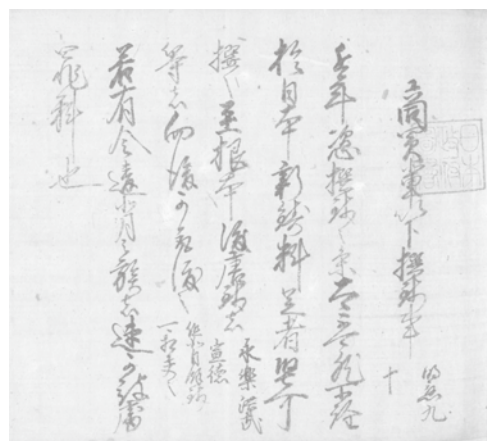
## 第四部 中世から近世へ

南京銭と鍛(ちゃん)再考……本多博之  
織田信長の撰銭令をめぐる……平井上総  
十六〜十七世紀伊勢神宮地域をめぐる……千枝大志  
信用と金融の実像……千枝大志

## 編者プロフィール

中島圭一 (なかじま けいち)

慶應義塾大学文学部教授。専門は日本中世史。編著書に『十四世紀の歴史学』(高志書院、二〇一六年)、主要論文に『中世経済を俯瞰する』(高橋典幸・五味文彦編『中世史講義』ちくま新書、二〇一九年)、『中世貨幣』成立期における朝廷の渡来銭政策の再検討(『日本史研究』622、二〇一四年)などがある。



定価 3,520 円(税込)  
本体 3,200 円

A5判・並製カバー装・336頁  
ISBN978-4-585-32519-2 C1321  
2022年9月刊行

| 書名                                                    | 部数                                                                                      |
|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>日本の中世貨幣と東アジア</b><br>【アジア遊学 273】<br><b>中島圭一 [編]</b> | 定価 3,520 円(税込)・本体 3,200 円<br>A5判並製カバー装・336頁<br>ISBN978-4-585-32519-2 C1321<br>2022年9月刊行 |
| ご送付先ご住所・氏名(通信欄)                                       |                                                                                         |

## 首里城を解く

高良倉吉 [監修]  
島村幸一 [編]

文化財継承のための礎を築く

首里城を歴史的・文化的に  
考えるために――

中国や日本、東南アジアなどとの海を越えた交流により独自の文化を築いた琉球王国。首里城は、その政治・外交の中心を担い、琉球王国の文化の豊穡さを体現する一大建造物である。数度の火災、琉球処分や沖縄戦等、歴史の荒波のなかでその大部分を損壊することとなったが、数多の人びとの尽力により、首里城復元事業が推進され、二〇〇〇年には世界遺産として登録されることとなった。

しかし、二〇一九年(令和元年)十月三十一日未明、首里城を火災がおそい、正殿と北殿、南殿が全焼し、その再建・復元は喫緊の課題として、現在検討が進められている。

失われた首里城を取り戻すために、いま、必要な知識は何か。

考古学・歴史学・建築学・文学等、諸分野の第一人者を集結、首里城の歴史と文化を解き明かし、再建に向けた礎を提示する画期的な書。

## 【監修者・編者紹介】

高良倉吉 (たからくらよし)

琉球大学名誉教授・元沖縄県副知事。専門は琉球王国史。首里城復元の委員。著書に『琉球王国史の探求』(榕樹書林、二〇一一年)など。

島村幸一 (しまむらこういち)

立正大学文学部教授。専門は琉球文学・琉球文化史。著書に『琉球文学の歴史叙述』(勉誠出版、二〇一五年)、『琉球船漂着者の「聞書」世界――「大島筆記」翻刻と研究』(編著、勉誠出版、二〇二〇年)など。

## 【目次】

序文…島村幸一

首里城を創る――正殿を中心に…高良倉吉

## ●考古学から

首里城の原点についての一考察

――グスク時代の遺跡で見られる隔離空間を再考する…山本正昭

出土陶磁器から見た首里グスク…瀬戸哲也

「コラム」トカラ、三島の城郭遺跡…伊藤慎二

「コラム」宮古・八重山諸島のグスク時代石積遺構について

…久貝弥嗣

## ●歴史学から

古琉球期における首里城の様相と変遷…上里隆史

「コラム」絵図から見た首里城…外間政明

近世琉球期の首里城――儀礼空間としての首里城…麻生伸一

「コラム」首里城で働く人々

――庖丁人と琉球の料理について…山田浩世

近代の首里城――県民に開かれた御城…喜納大作

## ●文学・芸能から

祭場としての首里グスク…島村幸一

芸能の舞台としての首里城…茂木仁史

漢詩に詠まれた首里城…高津孝

「コラム」首里グスクの御内原…島村幸一

散文に描かれた首里グスク…仲程昌徳

短歌のなかの首里城…屋良健一郎

## ●建築学・工芸から

中華礼制蕃国礼執行装置としての首里城…伊從勉

首里グスクの「異産至宝」…上江洲安亨

首里グスクを中心とした衣文化

――三山時代から近世琉球国後期頃まで…久貝典子

首里城を知るための〈入門〉十冊…輝広志

あとがき…島村幸一

定価4,180円(税込)  
[本体3,800円]A5判・並製カバー装・336頁  
ISBN978-4-585-32001-2 C1020  
2021年9月刊行

| 書名                                              | 部数 |
|-------------------------------------------------|----|
| 首里城を解く<br>文化財継承のための礎を築く<br>高良倉吉 [監修] / 島村幸一 [編] | 部  |
| ご送付先ご住所 (通信欄)                                   |    |

島村幸一・小此木敏明・屋良健一郎

著

# 訳注 琉球文学

『佐銘川大ぬし由来記』

『周蘭両姓記事』『思出草』

『浮縄雅文集』『雨夜物語』

『永峰和文』

さながわおおぬしゆらいき  
しゅうりんにょうせいきじ おもいでくさ  
うきなわがぶんしゅう あまよものがたり  
ながみねわぶん

文化の結節点たる琉球においては、琉球語のみならず漢語・和語による諸種の文学作品が華ひらいた。それらは、琉球という場のもつ広がりを示す貴重な歴史資料でもある。

十八世紀前半期は、琉球王府による歴史資料の編纂事業が集中し、文芸が盛んな時代であった。

氏族の歴史叙述が本格的に始まり、正史や地誌の編纂も行われた。

家譜と正史、地誌の叙述により、物語としての歴史が作られていく。

また、それと並行して、御取合(交際・交流)の文学としての和文学も展開した。

本書では、そのような時代に成立した6編の作品を取り上げ、

校訂本文に注釈・現代語訳を付し、解説を加える。

琉球をどのように叙述し、どう認識させようとしているのか。

琉球の歴史や地誌をどのような枠組みで描こうとしているのか。

琉球の歴史伝承叙述の意味づけを考える上で重要な作品を読み解く。

## 【著者プロフィール】

島村幸一(しまむら・こういち)

立正大学文学部教授。専門は琉球文学、琉球文化史。著書に『おもろさうしと琉球文学』(笠間書院、二〇一〇年)、『琉球文学の歴史叙述』(勉誠出版、二〇一五年)、『おもろさうし研究』(角川文化振興財団、二〇一七年)、『琉球船漂着者の「開書」世界』(大島筆記翻刻と研究、勉誠出版、二〇二〇年)、『首里城を解く』(文化財継承のための礎を築く)(編著、勉誠出版、二〇二二年)などがある。

小此木敏明(おこのぎ・としあき)

立正大学古書資料館専門員・立正大学非常勤講師。専門は中世・近世文学。著書に『立正大学蔵書の歴史 寄贈本のルーツをたどる 近世駿河から図書館へ(増補改訂版)』(立正大学品川図書館、二〇一九年)、『論文に「中山世鑑」における依拠資料』(四書大全・網鑑「太平記」について)、『説話文学研究』(47、二〇二二年)、『中山世鑑』の伝本について』(内閣文庫を中心に)(小峯和明監修、目黒将史編『資料学の現在(シリーズ)日本文学の展望を拓く』5)(笠間書院、二〇一七年)などがある。

屋良健一郎(やら・けんいちろう)

名桜大学国際学群上級准教授。専門は琉球史。著書に『琉球史料学の船出』(共編、勉誠出版、二〇一七年)、『論文に「近世琉球の日本文化受容」(清水光明編)『近世化・論と日本』(遊学185、勉誠出版、二〇一五年)、『近世における琉球人の日本漂着』(島村幸一編『琉球船漂着者の「開書」世界』(大島筆記翻刻と研究、勉誠出版、二〇二〇年)などがある。

## 【目次】

序文  
凡例

佐銘川大ぬし由来記

解説／本文／現代語訳／注釈

周蘭両姓記事

解説／本文／現代語訳／注釈

思出草

解説／本文／現代語訳／注釈

浮縄雅文集

解説／本文／現代語訳／注釈

雨夜物語／永峰和文

解説／本文／現代語訳／注釈

参考地図

参考文献一覧

あとがき

和歌初句索引

6作品全点  
初の訳注

定価 12,100 円・(本体価格11,000円)

A5 判上製・496 頁  
ISBN 978-4-585-39009-1 C3095  
2022 年 3 月刊行

| 書名                                                                                                    | 部数       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| <p>訳注 琉球文学</p> <p>『佐銘川大ぬし由来記』『周蘭両姓記事』『思出草』</p> <p>『浮縄雅文集』『雨夜物語』『永峰和文』</p> <p>島村幸一・小此木敏明・屋良健一郎 [著]</p> | <p>部</p> |
| <p>ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)</p>                                                                               |          |

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

木俣元一／近本謙介……………編

宗教遺産  
テキスト学の創成

「祈り」という人類の普遍的・根源的営みのなかで構築された宗教は、それを信仰し担う人々により、多種多様な形をもって大切に守られ、伝えられてきた。

また、一方で、人間と宇宙の根源的な在り方を規定する拠り所であるが故に、

世界認識における解釈の対立を生じ、時には宗教間の軋轢や破壊を呼び起こすきっかけともなった。

「宗教遺産テキスト学」とは、

人類によるあらゆる宗教所産を、多様な「記号」によって織りなされた「テキスト」とみなすことで、

その構造と機能を統合的に解明し、人類知として再定義することを目的とし、

「コト」と「モノ」を一体化する新たな学術領域である。

宗教遺産を人類的な営みとして横断的かつ俯瞰的に捉え、

ひと・モノ・知の往来により生成・伝播・交流・集積を繰り返すその動態を、

精緻なアーカイブ化により知のプラットフォームを構築することで、多様性と多声性のなかに位置づける。

文理を超えた三篇七章、四十の論考により示される、人類の過去・現在・未来をつなぐ新視点。



## 【執筆者一覧】

第一篇…近本謙介・宮治昭・上枝いづみ・影山悦子・檜山智美・濱田瑞美・森雅秀・

大谷由香・荒見泰史・程永超・横内裕人・三好俊徳・富島義幸・本井牧子・

児島大輔・猪瀬千尋・山本聡美・鴈野佳世子

第二篇…木俣元一・秋山聰・松田陽・高橋沙奈美・栗田秀法・周藤芳幸・水野千依・

松井裕美・石原美奈子・伊東未来・出口顯・佐々木重洋

第三篇…梶原義実・小田寛貴・河江肖刺・遠藤守・井上隼多・野原裕太・阿部泰郎・

三谷真澄・野呂靖・小池淳一・楠淳澄

## 【目次】

カラー口絵  
宗教遺産テキスト学序説

第一篇 生成・動態の解明  
——源流と伝播のメカニズム

第二部 交流と集積の実態解明  
——仏教文獻・図像の源流および諸地域への伝播の解明

——東アジアにおける祈りの記録と記憶

第三部 日本における宗教美術の形成・伝来・復元

第二篇 多様性・多声性の解明

第四部 「文化遺産」と「宗教」の歴史と理論  
——「宗教遺産テキスト学」の基盤構築に向けて

第五部 宗教実践の多様性と遺産化をめぐる諸問題

第三篇 文理融合による新展開と未来への発信

第六部 文理融合型研究の新展開構築

第七部 宗教遺産先端アーカイブ構築と発信

まとめと展望  
あとがき／執筆者一覧

定価 **16,500**円・(本体価格15,000円)  
B5 判上製・カラー口絵8頁＋本文720頁  
ISBN 978-4-585-31008-2 C3014  
2022年3月刊行

| 書名                            | 部数 |
|-------------------------------|----|
| 宗教遺産テキスト学の創成<br>木俣元一／近本謙介 [編] | 部  |
| ご注文先ご住所・氏名 (通信欄)              |    |

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

# ことば・ほとけ・凶像の

## 交響 法会・儀礼とアーカイヴ

近本謙介【編】

### 【目次】

カラー口絵

緒言◎近本謙介

#### 第一部 ことばの響き

中世日本の唱導におけるほとけとことば——説経師の宗教テキスト・アーカイヴス◎阿部泰郎

信貴山と中世聖徳太子伝◎猪瀬千尋

河内源氏の供養と鎌倉幕府の成立——安居院流唱導の表白を題材として◎山野龍太郎

アーカイヴとしての『扶桑略記』◎三好俊徳

蒙書『上大人』・『土土由山水』と禅師語録における運用について◎任 占鵬

『維摩経』をめぐる法会・文芸・芸能——『春日権現験記絵』を視座として◎近本謙介

#### 第二部 ほとけの響き

浄土寺浄土堂の造形と思想◎富島義幸

宣陽門院の宗教空間におけるほとけとことば

——東寺西院御影堂の中世的発展と貞慶の『舍利講式』をめぐる◎阿部美香

儀礼空間に託された信仰のかたち——高野山大伝法院本堂を中心として◎郭 佳寧

コラム・『華嚴経』を見ること、聞くこと、飲み込むこと

——論義における中世僧侶の教理意識とその周辺◎野呂 靖

北条時頼の臨終儀礼再考——俊仍・泉涌寺僧請来の宋代仏教儀礼・作法の視点から◎西谷 功

通受の背景◎大谷由香

#### 第三部 凶像の響き

古代・中世仏教儀礼における造形の役割——行儀・凶像・テキスト◎泉 武夫

新出の列女伝図・列士伝図について——楚平伯鳳図、聶政図の断片◎黒田 彰

十王信仰初期の変容と唱導◎荒見泰史

神奈川県小田原市総世寺所蔵の十王二使者図について◎橋本遼太

立川流『阿字観』とその伝本

——仁和寺蔵『五智蔵秘抄』の後半部を伝える聖教をめぐる◎海野圭介

文観房弘真が織りなしたテキストの地平

——『御遺告七箇大事』と『三尊合行法』◎ラポー・ガエタン

称名寺素尊本神祇書一結と神道灌頂◎高橋悠介

#### 第四部 アーカイヴとの共鳴

鎮護国家の仏教と列島の景観——仏法・王法相依の儀礼と地域統治◎松尾恒一

民俗社会の信仰と知識——奥三河宗教文献研究の現在◎松山由布子

コラム・『男ノ心』は何と同じか——九華山地蔵寺所蔵文献から◎山崎 淳

史料紹介・壬辰請援第一陣の記録——柳夢鼎の燕行録『壬辰赴京日記』◎程 永超

あとがき◎近本謙介

【編者紹介】  
近本謙介（ちかもと・けんすけ）一九六四年生まれ。名古屋大学文学研究科教授。専門は中世宗教文芸。著書に『春日権現験記絵注解』『神戸説話研究会編 和泉書院、二〇〇五年・二〇一四年改訂重版』『天野山金剛寺善本叢刊第一期・第二巻「因縁教化」共編著、勉誠出版、二〇一七年』『玄奘三蔵 新たな玄奘像をもとめて（共編著、勉誠出版、二〇二一年）』『宗教遺産学の創成』編著、勉誠出版、二〇二二年などがある。

定価 二二、一〇〇円（税込）  
（本体 二一、〇〇〇円）  
B5判上製カバー装  
カラー口絵一六頁＋本文五二八頁  
二〇二二年三月刊行  
ISBN978-4-585-31009-9 C3015

| 書 名                                                                                                |  | 部 数 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----|
| ことば・ほとけ・凶像の交響<br>法会・儀礼とアーカイヴ<br>近本謙介【編】                                                            |  |     |
| 定価 13,200円（税込）・本体12,000円<br>B5判・上製カバー装・カラー口絵16頁・本文528頁<br>2022年3月刊行<br>ISBN978-4-585-31009-9 C3015 |  | 部   |
| ご送付先ご住所（通信欄）                                                                                       |  |     |

# 鷹狩の日本史

福田千鶴・武井弘一〔編〕

## 知られざるヒトとタカの関係史

飼い慣らした鷹を自在に操り、獲物を捕らえる狩猟、鷹狩。  
五世紀の古墳時代から

江戸幕府瓦解の十九世紀後半に至るまで、  
鷹狩は権力と深く結びつきながら

日本列島において連綿と続けられてきた。  
そこには、日本の風土や社会のなかで

地域・時代・階層、あるいは狩猟の目的等にあわせて  
独自に発展してきた固有の歴史が存在する。

日本史を貫く重要な要素でありながら、  
等閑視されてきた鷹狩の歴史を紐解き、  
新たな知の沃野を拓く刺激的な一冊。

### 編者プロフィール

#### 福田千鶴（ふくだ ちづる）

一九六一年生まれ。九州大学基幹教育院教授。鷹・鷹場・環境研究会代表。専門は日本近世史。著書に「幕藩制の秩序と御家騒動」（校倉書房、一九九九年）、「徳川綱吉」（山川出版社、二〇一〇年）、「近世武家社会の奥向構造」（吉川弘文館、二〇一八年）、「城割の作法」（吉川弘文館、二〇二〇年）などがある。

#### 武井弘一（たいけい こういち）

一九七一年生まれ。琉球大学国際地域創造学部准教授。鷹・鷹場・環境研究会副代表。専門は日本近世史。著書に「鉄砲を手放さなかった百姓たち」（朝日新聞出版、二〇一〇年）、「江戸日本の転換点」（中央出版、二〇一五年）、「茶と琉球人」（岩波書店、二〇一八年）などがある。



### 目次

#### 序章 鷹狩の日本史◎福田千鶴

#### 第1部 古代から近世までの通史的展開

- 第1章 古代日本の鷹狩◎森田喜久男
- 第2章 中世日本の鷹狩◎中澤克昭
- 第3章 近世日本の鷹狩◎武井弘一
- 【ラム1】鷹・馬・犬からみた生類憐みの令◎兼平賢治
- 【ラム2】山林原野の明治維新と御猟場◎江藤彰彦

#### 第2部 鷹と人との関係史

- 第4章 鷹の種類と調教◎福田千鶴
- 【ラム3】琉球の鷹狩儀礼と生態系◎武井弘一
- 第5章 鷹狩をめぐる江戸時代のツルの「保護」と人の関わり◎久井貴世
- 第6章 琵琶湖の水鳥猟と鷹場◎東 幸代
- 【ラム4】鳥取藩「湖山鴨堀」と周辺環境◎来見田博基
- 第7章 越後国村上藩主松平直矩の鷹と鷹狩◎渡部浩二
- 第8章 大洲藩の狩——鷹鷹場と生業◎東 昇
- 第9章 尾張藩家臣の鷹場
- 【ラム5】「ただ六とシロ」の物語◎福田千鶴

#### 第3部 日本列島における鷹の諸相

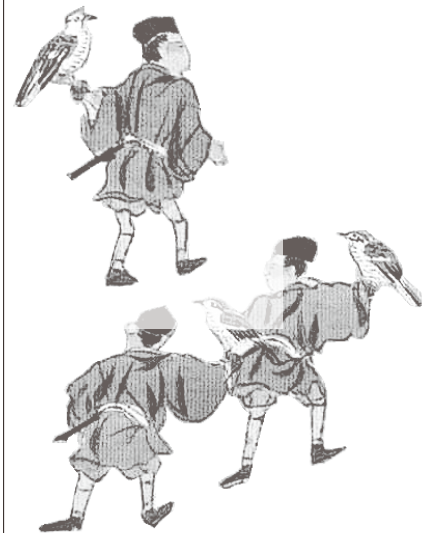
- 第10章 「御鷹」の献上・下賜◎越坂裕太
- 【ラム6】「御鷹」拝領と「御鷹」二而捉飼「鳥類の時献上」◎武鑑を糸口に◎藤實久美子
- 第11章 松前藩と鷹鳥屋敷知行◎榎森 進
- 【ラム7】將軍の鷹と馬◎兼平賢治
- 第12章 盛岡藩の鷹と奥州の捕獲◎中野渡一耕
- 【ラム8】参勤交代にみる鷹の役割◎来見田博基
- 第13章 南九州における鷹巢山について——米良山を中心に◎大賀郁夫

#### 第4部 鷹狩文化を担った人々

- 第14章 鷹詞と有職故実◎大坪 舞
- 第15章 鷹狩の絵画——近世初期における鷹狩への眼差し◎水野裕史
- 第16章 銅鳥勝茂と鷹◎伊藤昭弘
- 第17章 鷹匠として生きる武士たち◎堀田幸義
- 【ラム9】江戸における鷹匠の交流◎岩淵令治
- 第18章 鷹書と出版文化◎藤實久美子
- 【ラム10】越境する鷹狩文化——中央ユーラシアを駆ける鷹狩と鷹匠の世界◎相馬拓也

あとがき◎武井弘一

執筆者紹介◎掲載図版一覧◎鷹狩年表◎索引



| 書 名                           | 部 数                                                                          |
|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| <b>鷹狩の日本史</b><br>福田千鶴・武井弘一〔編〕 | 本体3,800円(+税)<br>A5判・並製・カバー装・368頁<br>2021年2月刊行<br>ISBN978-4-585-22297-2 C1021 |
| ご送付先ご住所（通信欄）                  |                                                                              |